

# 大学生と集落の協働による地域活性化事業

福島県 地域振興課 TEL: 024-521-7114

### 背景•目的

人口減少 少子高齢化 地域の担い手不 足 集落の活力低下 大学生 事業 集落の活性化

+

関係人口の創出

- ◇平成21年度から実施し、これまで96集落・96グループが参加
- ◇主な参加大学:福島大、東北大、獨協大、宇都宮大、東洋大、宮城教育大、宮城大 (R6.9月現在)

## 集落活性化の取組

- ◎大学生の持つ柔軟な視点や感性・行動力を活かした 集落活性化
- ◎県内外の若者と集落の交流
- ◎集落の主体的な活動を支援



#### 集落自主活動に係る 伴走支援事業

・<u>4年目:</u> 集落が実施する サポート事業※支援

・<u>3年目:</u> 集落の主体的な取組へ の伴走支援



#### 大学生の力を活用した集落復興支援事業

- ・<u>2年目</u>:活性化策に基づいた実証活動
- ·<u>1年目</u>:集落の実態調査·活性化策提案

<共有・交流> 地域づくり交流会・ 誇れる集落発信事業

- ·活動報告会
- ⇒**気付き**や **学び**による 活動の充実
- •交流会
- ⇒活動の広がり、地域に対する思いの醸成

#### ※ サポート事業:地域創生総合支援事業(過疎・中山間地域活性化枠)

### 集落活性化の事例

#### 農家民宿でまちおこし

二本松市木幡地区水舟集落

農家 民宿

特産

品

宇都宮大学 H25~26,H30~R1



- ○大学生が**農家民泊ガイドライン**を作成し、 農家民宿体験を実施。
- 〇木幡地区では学生の提案を受け4軒の農家民 宿が開業、現在は**8軒が運営中**。

# あんぽ柿復っ活

伊達市梁川町五十沢地区

↑ 東洋大学 H27~30



- ○風評による売上減少、検査に伴うコスト増 等により苦戦していたあんぽ柿。
- 〇市場ニーズを捉えた少量販売、学生考案の包装デザイン、「発祥の地」の売り込みなど高 付加価値の商品化に成功。

#### 竹の活用 SDGs

会津若松市大戸地区

地域 資源

交流

会津大学短期大学部 R1~



- ○伐採した竹を活用し、**竹灯篭や生活雑貨** の製作、竹酢液を使った野菜作りを実践。
- の製作、竹酢液を使った野菜作りを美味。 〇収穫した野菜は、**地元の高校生や企業と** 連携して販売。

#### 交流活動継続宣言

只見町布沢地区

宇都宮大学 H22~



- ○学生とOBが任意団体「D-friends」を結成し、区と「交流活動継続宣言」を締結。年間延べ約200人が地域を訪問し活動・交流を継続。
  ○本事業のOBが地域おこし協力隊を経て「森林
- ○本事業のOBが**地域おこし協力隊**を経て**「森林 の分校 ふざわ」の支配人**に就任。

### 関係人口・地域の担い手へ

#### 地域おこし協力隊

西会津町中町集落 × 福島大学

- OAさんは西会津町民の人柄に惹かれ、令和4 年4月より西会津町の**地域おこし協力隊**に 着任。
- ○集落支援を担当し、西会津町と他の地域を つなぐ架け橋として活躍中。

#### 地域おこし協力隊 → 起業

南会津町耻風地区 ×

獨協大学

- 〇Bさんは大学生事業をきっかけに、南会津町 の地域おこし協力隊として3年間活動。
- ○任期終了後も、**南会津町に定住**し直売所の 運営、地元商品の県外への販売、製作した キッチンカーの営業に挑戦中。